

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

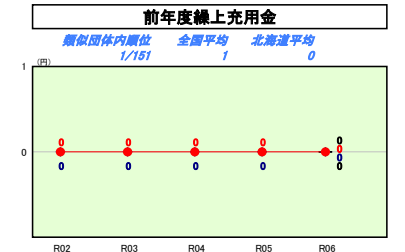
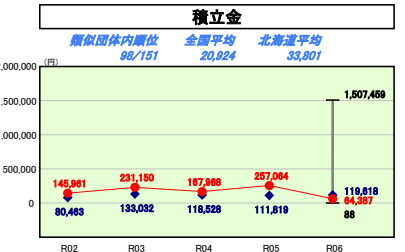
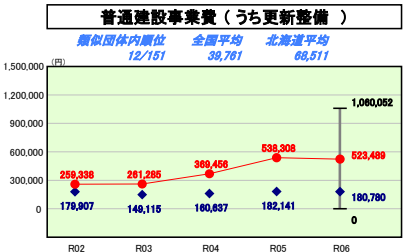
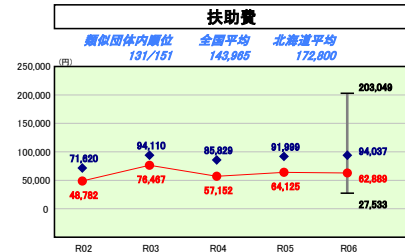
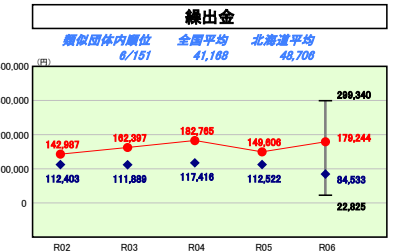
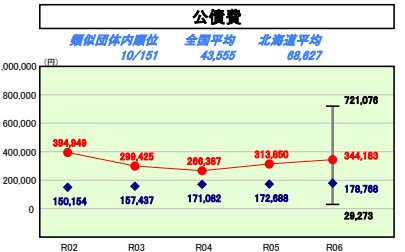
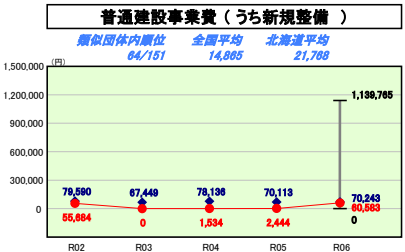
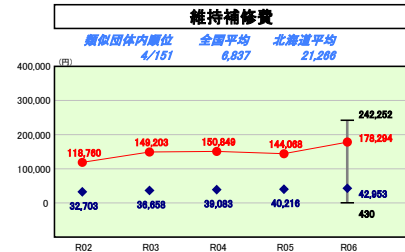
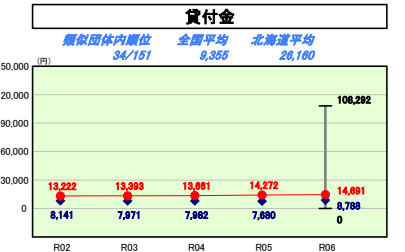
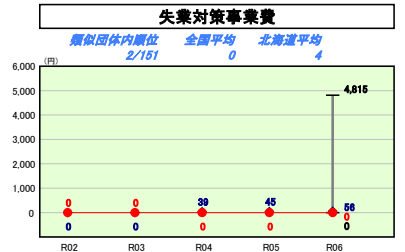
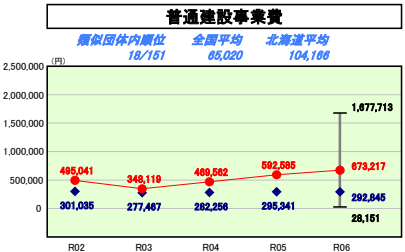
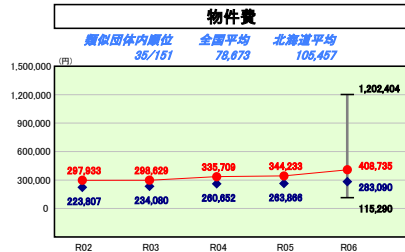
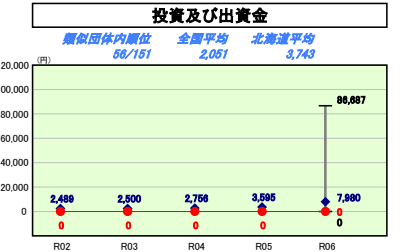
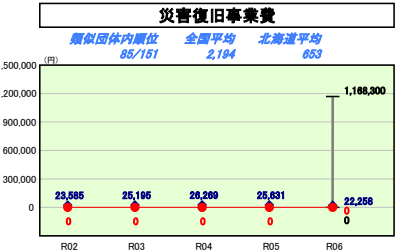
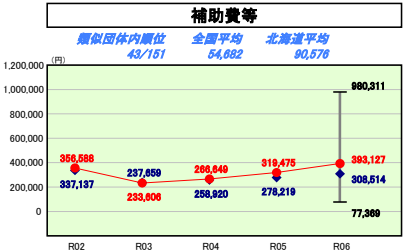
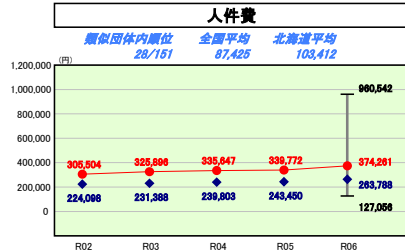
令和6年度

北海道概延町

人口	2,042人(07.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	2,002人(07.1.1現在)	通給実収赤字比率	-%
面積	574.10km <sup>2</sup>	実収公債費比率	4.5%
歳入総額	5,715,004千円	実収負担比率	-%
歳出総額	5,499,166千円	市町村類型	R02 I-O R03 I-O R04 I-O
実収収支	165,630千円	(年度毎)	R05 I-O R06 I-O
標準財政規模	3,085,633千円		
地方債現在高	3,152,907千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**性質別歳出の分析**  
 普通建設事業費は、住民一人当たり673.217円となっており、類似団体と比較して一人当たりコストが高い状況となっている。これは、橋梁長寿命化改修事業により補修する橋梁数が増加したことや新たに道路改良工事を実施したこと等によるものであり、前年度決算と比較すると13.6%増となっている。  
 今後も小中一貫校整備事業等の大型建設事業が予定されており、住民一人当たりの負担が増加することが懸念される。